

あぐりログ価格

ログBOX標準セット価格
オープン価格 ※詳細はお問い合わせください

ログBOX-Lite価格
オープン価格 ※詳細はお問い合わせください

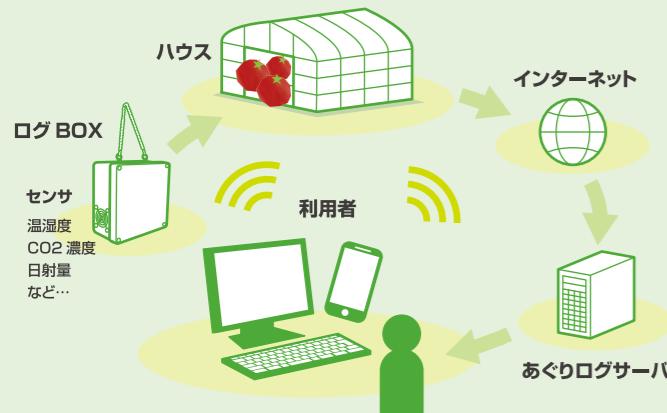
あぐりログサービス利用料
ログBOX
30,000円／年(税別)～

ログBOX-Lite
12,000円／年(税別)～

仕様

製品タイプ	ログBOX	ログBOX-Lite
概要	専用計測器「ログBOX」は、通信機能と計測機能を一体化しています。	Sigfox通信を行う独立小型センサ(温湿度対応)
筐体	サイズ:200mmx200mmx100mm 重量:1.1～1.3kg 素材:ABS防水防塵タイプ 吊り下げ方式:吊り下げチェーン長さ 18cm ※ただし、強制通風のため、底面と側面に開口部があり、上面からの防滴対応のみ	サイズ:85mmx145mmx25mm 重量:280g 吊り下げ方式
電源	5VDC 2A以上(100V ACアダプタ同梱 電源コード長:145cm)	単3乾電池2本にて、4ヶ月駆動(電池残量はPCやスマフォ等で画面確認可能。)
通信	携帯電話網(LTE)にてインターネット接続(SIM搭載済み)	Sigfox
搭載センサ	温湿度センサ	温湿度センサ
	温度 -40～125°C, ±0.3°C、分解能 0.01°C 湿度 0～100%Rh, ±2%Rh、分解能 0.04%Rh	温度 -40～125°C ±0.3°C 湿度 0～100%RH ±2%
	O2濃度センサ	
	CO2濃度 0～5000ppm, ±30ppm ±3%rdg、動作環境 0～50°C	

『あぐりログ』の仕組み



『あぐりログ』サービスへの接続方法

インターネット接続が可能なPC、スマートフォン、タブレットに搭載されたブラウザ(※)にて、下記アドレスにアクセスし、ログインすることで利用できます。

<https://agrilog.jp>

※対応するブラウザは以下の通りです。

PC／GoogleChrome32以降、Firefox31以降、Safari5以降、IE11以降の最新版

スマートフォン・タブレット／iOS6.0以降、Android4.0以降に搭載されたもの



『あぐりログ』は、生産者及び生産者を支援する多くの皆様の声をもとに、常に進化するサービスです。

株式会社IT工房Z

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目2-5
丸の内ヒビノ・オフィスライズ 4A
TEL 052-218-3318
E-mail support@itkobo-z.jp URL <https://itkobo-z.jp/>

販売店欄

「あぐりログ」「ログBOX」は、愛知県農業総合試験場様との共同研究成果です。

5分で始めるスマート農業

あぐりログ

環境制御の入口は、圃場環境を知る事です。
見える化にあぐりログは
最適なコストパフォーマンスを提供します。



▲ ログBOX-Lite

植物の状態と圃場環境を見比べて、
光合成の最大化に必要なことを
検討しましょう。



地上部、地下部を同時に見える化。
これで、光合成を最適化しましょう！

地上部はもちろん、地下部もモニタリングして見える化。
光合成の活性化には、地上部地下部の連携が必須です。
太陽の光が十分にあるときに、地上部にCO2、地下部に水は適切に供給されていますか？

あぐりログは、地下部の見える化をより進化させ、土壤の状態や排液の状態を数値化します。
そして、給水状況を地下部と同時にモニタリングすることで、必要な制御の方針策定を支援します。



2020/6/30時点
累積出荷台数1,400台

施設内環境制御の成果を得るには

自分の施設内環境を知る為に環境モニタリングから始めましょう

何が足らないのか何が余分なのかを知りましょう。

植物の状態を見ながら、環境や栽培方法との関わりを確認しましょう。

収量アップや品質向上に向けて栽培環境を改善しましょう



特徴

- 標準で、温度・湿度・CO₂濃度を計測します。
 - 温度、湿度から飽差と露点を自動的に算出し即座に確認できます。
- 強制通風を標準装備していますので、強い日射の中でも安定した温湿度を計測します。
 - よって計測したい場所に設置するだけです。
- 画面は、スマフォとPCでグラフを主体にしてすぐに状態を視認できます。
 - スマフォ画面とPC画面は何時でも切り替えできます。
- お知らせ機能で、圃場状態が異常な状態になった場合にはメールでプッシュ通知ができます。
 - 送信先メールアドレスは、5つまで登録できます。
 - お知らせの閾値設定は、ハウス毎に設定できます。
- コメント機能で栽培の作業イベントをメモとして記録できます。
- フォローフォロー機能で、仲間同士や指導者と計測データを共有できます。
 - グラフの重ね合わせで何時でも、比較でき、コメントも共有できます。
 - 指導者に何時でも見て貰うことでデータに基づいた指導を受けることができます。



- カルテ機能で日時で統計処理したデータを確認できます。
 - 日毎の、最大値、最小値、平均、日中平均、夜間平均、日夜平均差(DIF)が確認できます。

- 他システムとデータ連携するためのWebAPIを備えています。
 - 営農システムや分析システムに容易に計測データを提供することができます。

- オプションセンサを用いることで、地上部だけでなく、地下部もモニタリング、また養液栽培での流量と排液量をモニタリングすることで植物体に吸水される量も見える化します。



モバイル専用サイトも用意



サービスの背景

- 愛知県農業総合試験場様、JAあいち経済連様の知見を受けて開発しています。
- 生産者のご要望、研究者のご意見を取り入れて改良してきました。
- 随時頂ける情報を取り入れ、日々改善しています。



オプションについて



① 汎用温度センサ
(5m / 10m)



- ケーブル長5m、10mタイプどちらか
- 温度 -55~125°C、±0.5°C、防水対応



③ 日射センサ



- 日射強度 0~1kW/m²、波長範囲 400~700nm、±10%



④ 土壌EC 水分センサ



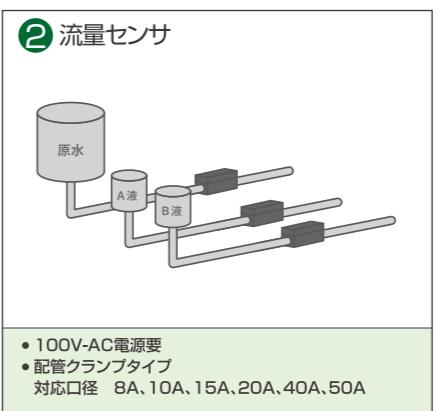
- ケーブル長5m、延長あり、拡張ボード要
- 温度 -10~50°C、±1°C
- 体積含水率 0~100%、±10%
- 電気伝導度(EC) 0~7mS/cm



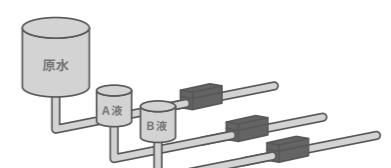
⑤ 土壌pF センサ



- ケーブル長3m
- pF 0.81~2.9



② 流量センサ



- 100V-AC電源要
- 配管クランプタイプ
対応口径 8A, 10A, 15A, 20A, 40A, 50A



⑥ 排液量センサ



- 100V-AC電源要
- 排液温度 0~50°C
- 排液EC 0~5mS/cm
- 排液体積 計測単位 0.18L、計測限界 6L/分

// 数多くの生産者様にご利用いただいているます! //

利用者の声

近年、キュウリの栽培技術は大きく進歩、変化しています



J.A.西三河きゅうり部会 下村堅二さん

ICTと農業は、他の産業と比べてもユーザーインバーションの意味から相性が良いです。現場の工夫をICTで共有し産地として効果を出すことは、私たちのように零細な経営の農家が生き残るために必要不可欠と感じています。

当産地ではいち早く環境モニタリングの普及を進め、既存のハウスに炭酸ガス発生装置やミスト装置、日射比例灌水装置、統合環境制御装置を導入して設備の高機能化をはかり栽培技術を向上させてきました。

年一作の栽培では栽培経験の蓄積に長い年月を必要とします。普及台数が多いほど1年で多くの実証データが収集でき、栽培技術の向上を加速できます。ICTを導入してモニタリングを低コストで普及させることにより、産地の生産性向上を促すことが、データ駆動型産地づくりには欠かせない要素ですね。

